

日本薬学会第138年会併催展示会
日本薬科機器協会 ワークショップ プログラム・受講申込み

3月27日(火)

会場:石川県立音楽堂・交流ホール(展示会場内)

YWS-01 13:30~14:10

東京医科大学医学部看護学科/(株)日本医化器械製作所

実践現場における抗がん剤曝露対策

近年、抗がん剤を取り扱う医療従事者の職業性曝露の問題が注目されています。対策は、調製だけでなく投与、こぼれ処理、運搬～廃棄、排泄物やリネンの取り扱いなど様々な場面で必要です。ここでは「がん薬物療法における曝露対策 合同ガイドライン」で推奨される対策を現場でどのように実践するのか、その具体策や先駆的な実践例についてご紹介します。

YWS-02 14:30~15:00

大阪府立大学研究推進機構/(株)日本医化器械製作所

装置はそのまま、培養器で三次元培養組織に新たな視点を

薬効評価モデルとしても非常に重要度の高い三次元組織培養実験において、高価な顕微鏡システムや試薬に依存せず、安価な培養器の観点からユーザーに新たな視点を与える培養Cubeデバイスについてご紹介します。

YWS-03 15:30~17:00

富士通(株)

AI/Big Dataによる医療のイノベーション

医療分野におけるAI/ビッグデータ活用の期待が高まっています。特に、高度な知見と経験が必要な医療では、次世代の高度先進医療に向け、医療データ、人材育成、ICT活用がその重要な要素となります。そのための産学連携として、京都大学大学院医学研究科様と富士通は、医療の高度化に向けた共同研究講座(医療情報AIシステム学講座)を立ち上げました。

喫緊の課題である高齢者対策や個別化医療には創薬も重要テーマであり、シミュレーションによるデータ生成技術等、スパコンを含むハイブリッドな技術の研究開発も医療高度化には必要です。

3月28日(水)

YWS-04 10:00~11:30

コーンズ テクノロジー(株)

<SPR顕微鏡>膜蛋白質との相互作用解析の新しいアプローチ

従来のSPRを用いた膜蛋白質の相互作用解析では、精製した膜蛋白質をセンサーチップ上に固定して分子間相互作用計測を行います。膜蛋白質は、精製過程で不溶化したり、精製できた場合でも大きな構造の変化・複合体の分離などにより本来の結合機能の大幅な低下が問題となります。これに対してSPR顕微鏡を用いた膜蛋白質との相互作用解析では、細胞をセンサーチップ上で培養・固定し、そのままリガンド分子との分子間相互作用計測を行うため膜蛋白質の精製が不要であり、膜蛋白質が細胞膜上に存在しているときと近い条件で計測・機能評価を行うことができます。ワークショップでは、SPR顕微鏡の基本原則・計測事例の紹介、ならびに細胞サンプルを用いて糖蛋白質-レクチン間の相互作用計測のデモ計測を実施します。

YWS-05 13:30~14:30

(株)東レリサーチセンター

医療現場で役立つ血中濃度測定~MS/MS~

近年の質量分析計の目覚ましい技術発展により、医療現場では、血液や尿等の生体試料中の医薬品やその代謝物の濃度測定にこの技術が活用されている。具体的には、新生児マススクリーニング、治療薬物モニタリング(TDM)、バイオマーカーの測定や診断法の研究等の多くの分野において広がりが見られる。(株)東レリサーチセンターでは、医薬品の開発や医療現場に役立つ様々な分析メニューを取り揃えているが、本ワークショップでは、DBSカードを用いた高速液体クロマトグラフィー/三連四重極質量分析法(LC/MS/MS)による血中濃度測定に焦点を当て、具体的な事例と課題についてご紹介する。

YWS-06 15:00~16:30

コーンズ テクノロジー(株)

光音響技法を用いた非侵襲による新たながん診断法(イメージング並びに生理機能)の紹介

光音響計測は生体イメージングに用いられる技法の一つで、非侵襲性・高深度計測・血管の非標識計測や分子イメージングが可能であるといった特性から、メラノーマや体内臓器で発生する早期腫瘍(肝臓がん、乳がん、子宮がん等)観察において、PET、MRI、X線CTなどの従来技法の補完することができます。抗体や融合タンパク質を用いて腫瘍標的分子を光音響プローブで標識し、腫瘍形態を非侵襲で経時的に計測することで、新たな知見を得られることが期待されています。ワークショップでは、光音響計測の基本原則や腫瘍計測の応用例(ヌードマウス肝臓での10日間)の紹介、ファントム(スケルトンリーフ)を使った3D微細構造計測のデモンストレーションを実施します。

受講申し込み

FAXまたはE-mailでお申し込みください。
FAX番号:03-3407-9557 E-mail:info@nyk.gr.jp

年会の参加登録者が対象です。
事前申し込みの締め切りは 3月20日(火)です。
当日、会場でも受け付けております。
予定された受講者数を超えた場合、受講をお断りする場合がございます。

希望講座名:

(講座番号YWS-O 複数申込み可)

氏 名:

所 属:

住 所:

連絡先:

E-mail: